

平成24年度
北海道大学大学院理学院
修士（博士前期）課程
第二次

自然史科学専攻
科学コミュニケーション講座

入 学 試 験
（ 外 国 語 ）

問 題

- 問題は、2ページ目から4ページ目までです。
- 解答用紙に受験番号と氏名を忘れずに書いてください。
- 英和辞典（ただし電子的な辞書を除く）を参照してもかまいません。

以下の文章は”Metaphors we live by”(George Lakoff and Mark Johnson, The University of Chicago Press, 1980)からの抜粋です。この文章を読み以下の間に日本語で答えなさい。

以下，著作権保護のため本文は表示しません。

- 問 1 : 下線部 (1) にも関わらず, 下線部 (3) をしなければならない理由を具体的に説明しなさい.
- 問 2 : 下線部 (2) を具体的に説明しなさい.
- 問 3 : 下線部 (4) と (5) の違いを具体的に説明しなさい.
- 問 4 : 下線部 (6) を具体的に説明しなさい.
- 問 5 : 下線部 (7) の場合, ARGUMENT (議論) についてどのような表現が考えられるか? ”ARGUMENT IS WAR”に関する事例を参考にして, 三つ挙げなさい.
- 問 6 : 下線部 (8) を具体的に説明しなさい.
- 問 7 : 下線部 (9) を具体的に説明しなさい.
- 問 8 : なぜ下線部 (10) のように言えるのかを具体的に説明しなさい.

解 答 用 紙

受験番号 () 氏名

問 1

問 2

問 3

問 4

問 5

1

2

3

問 6

問 7

問 8